

対象火気器具等を使用する際のチェックポイント

チェック項目		チェック欄
①ガソリン容器の取扱いに関する事項		
1	ガソリンは金属製容器で貯蔵するとともに、高温となるところや直射日光をさけ、通気の良い場所い保管すること。	
2	容器の蓋を開ける前にエア調整ネジを緩めて内圧を抜くこと。	
3	ガソリンを取扱っている周辺で火気や火花を発生する機械器具等を使用しない。	
②ガスコンロの取扱いに関する事項		
1	使用中は、その場を離れない。	
2	不燃性の台上で使用すること。	
3	コンロの上方1m以内、周囲15cm以内に可燃物を置かない。	
4	振動や衝撃で容易に転倒、又は落下するおそれのないよう据え付けること。	
5	始業前及び終了時には点検を行う。	
③プロパンガスに関する事項		
1	ボンベは水平な場所に置き、転倒しないような措置を講じること。	
2	直射日光や火気の近くを避け、風通しの良い場所に置くこと。	
3	ホースはひび割れ、劣化したものを使用しないこと。	
4	コンロとホースの接続部には、ホースバンドを取り付けること。	
5	使用しないガス栓にはゴムキャップを付けておくこと。	
6	使用後は器具栓だけでなく元栓も締めること。	
④発電機の取扱いに関する事項		
1	燃料を補給するときは必ずエンジンを止め、安全な場所で給油すること。	
2	火気から離れた避難の支障とならない位置で使用すること。	
3	長時間使用にする場合は適時にエンジンを停止するなど、過熱に注意すること。	
⑤その他に関する事項		
1	使用する際は、取扱い説明書の安全事項を必ず守ること。	
2	くわえタバコでの給油はしないこと。	
3	緊急時に備えて、避難誘導などの役割分担や連絡体制を決めておくこと。	
4	消化器等を準備すること。	
5	避難経路を確保すること。	